

HAKUBA

議会だより

154号

9月定例会号

令和7年10月31日発行



photo: 子育て支援施設お別れ会

全員でシャボン玉を飛ばしました

- 村税の徴収率が大幅改善！決算特別委員会…… 2～3
- 常任委員会 …………… 4～5
- 村政を問う 一般質問 …………… 6～14
- トピックス …………… 15
- 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 …………… 16



村税の徴収率が大幅改善！

平成6年度決算以来の90%台

認定第1号 令和6年度白馬村一般会計歳入歳出決算認定

歳入総額 **78億9,825万円**

歳出総額 **77億2,699万円**

実質単年度収支は1億3,819万円

村 税	現年度分徴収率は前年度比0.6%増の99.2%で滞納繰越分を含む合計徴収率が91.2%。 不動産取引の活発化で売買代金による滞納案件が解消されたケースなどが徴収率改善に大きく影響。
財政調整基金	5,500万円を積立。残高は13億9,742万円。
減債基金	1億6,246万円を繰上償還し、8,010万円を積立。残高は2億7,641万円。
村債残高	5億4,566万円減の52億8,486万円。 3か年平均値の 実質公債費比率 は16.2%（昨年度15.6%）。

総務課関係

問 「書かせない窓口」は投資に対して効果が少ないように感じるが。

答 将来的に職員負担の軽減と住民の利便性が高まる。周知やフォローをして利用の拡大に努める。

税務課関係

問 長野県地方税滞納整理機構による滞納処理実績は。

答 令和6年の移管件数は13件で、徴収済額は4085万5028円。

観光課関係

問 DMO統合予定は。

答 令和8年6月から宿泊税の徴収が始まるため、行政、白馬村観光局、白馬ツーリズム、白馬商工会を含めて今年度に「観光連絡調整会議」を開催し、役割分担をはっきりさせたい。

住民課関係

問 保険基金安定繰出金が前年度より多いのは、低所得の外国人が多く転入するためか。

答 算定基準日の1月1日時点で日本にいない場合も多く、所得

に応じた財政支援として繰り出す分が多くなる。

問 村のごみ処理事業で観光客の活発な入込による影響は。

答 インバウンド効果で事業系が増加している。事業系は2394t、生活系は990t。

農政課関係

問 物価高騰地方創生臨時交付金事業の対象者に一定規模以上の条件を付けた理由は。

答 対象の見直しをした。令和7年度には手厚く対応すべく、補正を検討する。

要望

問 令和6年度は議会への説明がないままに「一定規模以上の農家への補助」と要綱が変わった。産業経済委員会で審査する形にして欲しい。

問 有害鳥獣被害対策事業でサルのGPS首輪を購入しているが、サルの群れ情報を公式LINE等で周知しないのか。

答 試験的に被害地域の区長あてにGPSのサイトを知らせているが、LINEの情報発信は検討する。

健康福祉課関係

問 広域連合で「虹の家」の閉鎖、福祉事業協会では「白嶺」のデイサービスを閉鎖したいとの話

がある。2つとも閉鎖になるのはとても困る。ぜひ存続を。

答 広域連合と各市町村、「虹の家」の運営を委託している大町病院が検討委員会を作り閉鎖の選択肢も含めて模索中。

教育課関係

問 義務教育施設整備基金の内容は。

学校整備のための基金であり、令和6年度は1億円を積立て、決算残高は約4億円。耐用年数が過ぎている校舎があり建て替えが必要。今後統廃合等、議論を重ねる。

子育て支援課関係

問 村の障害児放課後ケアについての取り組みは。

「第三の居場所」の運営を委託しているNPOの小谷村施設と連携し運用。

生涯学習スポーツ課関係

問 重要伝統的建造物群保存地区の青鬼神社修繕の見通しは。

4月初旬に文化庁と協議、現在設計を組んでいる。

建設課関係

問 5年に1回実施する橋梁点検業務の結果は。

107橋を点検。非常に危険度の高いレベルは無い。

問 豪雪で、除雪事業者から、雪押し場を作れない地区があり、作業稼働時間が大幅増となったと聞く。雪押し場の空き地を確保すべきでは。

答 雪押し場の確保は大きな課題。地域に協力をお願いし、確保に努める。

問 景観パトロールでの違反件数は。

答 14件。一番多かったのは無届。そのうちの5件が不適合。景観づくりガイドライン策定の効果は。

問 事前勉強会などで、村内業者の意識向上効果はあった。事前届出が必須であることを住民に周知していく。

認定第2号

令和6年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定

歳入決算額は10億69334万円
歳出決算額は10億6652万円
国保世帯数は2211世帯、加入率は46・7%で前年度比0・8ポイント増。
被保険者数は3109人、加入率は34・9%で0・4ポイント増。

認定第3号

令和6年度白馬村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

主な歳出は長野県後期高齢者医療広域連合負担金で1億3455万円。
被保険者数は1553人で前年比69人増。

認定第4号

令和6年度白馬村水道事業会計決算認定について

収益的収入は事業収益が3億8342万円、営業収益が3億4434万円。
有収率は2・68ポイント増の49・99%。
収益的支出は、2億8821万円、営業費用は2億7513万円。
資本的収入は1億595万円、資本的支出は2億7283万円。収支不足額の補填財源は従来どおり。

認定第5号

令和6年度白馬村下水道事業会計決算認定

収益的収入は事業収益が5億635万円。
収益的支出は事業費用が4億7799万円。
資本的収入は3億6217万円。
資本的支出は4億2414万円、収

支不足額の補填財源は従来どおり。

議案第53号

令和6年度白馬村水道事業会計未処分利益剰余金の処分

未処分利益剰余金1億8997万494円のうち8200万円を建設改良積立金として、9953万4千円を資本金へ積立てる。

議案第54号

令和6年度白馬村下水道事業会計未処分利益剰余金の処分

未処分利益剰余金2883万6964円のうち2000万円を建設改良積立金として、106万7612円を減債積立金へ積立てる。



し尿投入施設予定地 現場視察

将来の図書館建設を見据え、子育て支援ルームの隣接地を購入

主な議案の審査内容

議案第48号

令和7年度白馬村一般会計補正予算(第2号)所管事項

議案の概要

歳入歳出予算にそれぞれ1億7488万1千円を追加し、予算総額を74億6471万5千円とするもの。

【健康福祉課関係】

デマンドタクシーや福祉輸送サービスで要介護や車椅子使用状況によって利用できない方があり、支援乗車するため会計年度任用職員2名分の250万円増額。
带状疱疹予防接種実績等による257万8千円増額。

【教育課関係】

学校環境整備事業額は、北小学校体育館西側壁面と漏水の修繕費に126万円増額。

【子育て支援課関係】

施設のアスベスト調査を行い、新たに検出されたことによる工事請負費2097万9千円増額。

問

以前点検済でも、除去にはこれだけ費用がかかるのか。

答

過去の調査は飛散の恐れがあるものだけで、飛散しないものは未調査。施設ごとの再調査が必要で、その結果、昨年の教員住宅のように新たにアスベストが見つかることもある。

【生涯学習スポーツ課関係】

将来の図書館建設を見据え、現在の子育て支援ルーム隣接地(約4200㎡)を購入するため2692万円増額。



取り壊しが決まった、子育て支援ルーム(旧中部保育園)

支障木伐採補助金250万円の増額補正

議案第46号

村道路線の廃止

議案第47号

村道路線の認定

議案の概要

村道3079号線、村道3083号線の路線を廃止し、村道3157号線、村道3158号線の路線を認定するもの。

問 答

もともと村の土地で道になっていたのか。
一部の道については民地となっていて、村に帰属する予定。

議案第48号

令和7年度白馬村一般会計補正予算(第2号)所管事項

【農政課関係】

白馬農業再生協議会を通じて農業者を支援するための産地づくり対策負担金725万円の増額。所有者等が適正に樹木等を管理するための支障木・森林病害虫防除等補助金250万円の増額。

問

産地づくり対策事業の肥料高騰化対策について、雪害

答

や強風による被害が多かったと思うが、被害のあった建物等の補助金の創設についての意見は、候補の中から絞り込みをしているが、リフォーム的なものについて話はなかった。

意見

産地づくりの負担金は、一般農業者に配慮をしていただきたい。

問

支障木伐採補助金は申請順で受け付けているのか。予算承認後は抽選方式をとりたい。

【観光課関係】

デマンドタクシー運行事業は、予約混雑の解消とサービス向上のためのシステム改修等委託料による275万円の増額。

【建設課関係】

堀之内地区の太陽光事業で雪害によるパネル破損があり、有害物質調査の水質検査委託料13万9千円の増額。

問

事業者が水質検査の費用を出すべきでは。

答

本来は事業者が行うことが前提。法的に義務を課せられることができない。

かったが、周辺住民の不安を考え検査を行った。結果的に被害はなく、住民に安心していただいた。

議案第51号

令和7年度白馬村水道事業会計補正予算(第1号)

議案の概要

資本的収入および支出の主な増額は、倉下低区配水池の機器故障等に伴う工事請負費によるもの。

議案第52号

令和7年度白馬村下水道事業会計補正予算(第1号)

議案の概要

資本的収入および支出の主な増額は、浄化センター曝気装置故障に伴う工事請負費によるもの。

各委員長報告の詳細はホームページをご覧ください

※各委員長報告は、正式に公開される「会議録」と違い、審議内容(発言)を要約し纏めて本会議場で発表する原稿として編集されたものです。



第3回定例会 議決結果

○…可決 ×…否決

番号	件名	総務社会委員会	産業経済委員会	決算特別委員会	議決結果
報告第4号	損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について	委員会付託なし			報告
報告第5号	損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について				報告
報告第6号	損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について				報告
議案第46号	村道路線の廃止について	○	—	—	可決
議案第47号	村道路線の認定について	○	—	—	可決
議案第48号	令和7年度白馬村一般会計補正予算(第2号)	賛成多数	○	—	反対:伊藤
議案第49号	令和7年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	○	—	—	可決
議案第50号	令和7年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	—	—	可決
議案第51号	令和7年度白馬村水道事業会計補正予算(第1号)	—	○	—	可決
議案第52号	令和7年度白馬村下水道事業会計補正予算(第1号)	—	○	—	可決
議案第53号	令和6年度白馬村水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	—	—	○	可決
議案第54号	令和6年度白馬村下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	—	—	○	可決
認定第1号	令和6年度白馬村一般会計歳入歳出決算認定について	—	—	○	可決
認定第2号	令和6年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	—	—	○	可決
認定第3号	令和6年度白馬村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	—	—	○	可決
認定第4号	令和6年度白馬村水道事業会計決算認定について	—	—	○	可決
認定第5号	令和6年度白馬村下水道事業会計決算認定について	—	—	○	可決
同意第4号	教育委員会委員の任命について	委員会付託なし			同意
議案第55号	工事請負契約の締結について				可決

※陳情及び請願はなし

議案48号 反対討論

伊藤まゆみ

図書館土地購入費2,692万円に反対。若者は居住費が高く村内に住めない、今後も固定資産税の増で資産売却、離村が続くと懸念。住民は外に追いやられている。その改善に税金を投入すべき。

賛成討論

松本喜美人

前議会で先行取得を提言し、不動産鑑定委託料を可決。土地評価額並びに価格査定を経て今回の予算計上に至った経過がある。賛同しかねる項目がある場合、すべてを否定するのではなく、少数意見の留保または減額修正案を提出すべき。

一般質問

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

質問者一覧

村民の開発規制強化要望にどう答えるのか

鈴木 均 7

大学を誘致しては

永井 勝則 8

今後の白馬駅前開発の展望は

内川 史朗 9

「旗艦ホテル」は住民を駆逐していないか

伊藤 まゆみ 10

森林整備補助金の評価は

太田 学 11

この地域に鉄道(大糸線)は必要か

酒井 洋 12

部活動地域展開の基本方針は

丸山 宏充 13

村民誰もが集える環境の場を提供する考えは

太田 伸子 14

フォトニュース



9月26日 児童が自ら考え演出した南小音楽会



鈴木 均

問 村民の開発規制強化要望にどう答えるのか

答 可能性について調査・研究中

【白馬村の将来像と開発】
村民アンケートで「開発や土地利用に対する規制強化を求める」が60.6%。村はどう規制する考えか。

問 開発規制の可能性について、引き続き調査・研究を継続するよう担当課に指示をしています。

問 開発の透明性確保のため、事業名、事業者名、予定地、事業概要等を村のHPに公開できないか。

答 住民説明会に提示された資料を公開する前提で検討を進めており、準備が整い次第、HPで公表します。

問 昨年冬の大雪で、今後を考えたとき、建ぺい率や道路後退、隣地境界幅など、開発指導要綱そのものを見直すわけではないか。

答 都市計画法・建築基準法をもって建築指導を行なっており、道路後退や隣地後退距離の基準を設けています。

問 不動産取得後2年以内の転売は固定資産税を3倍にするとか、歯止めが必要ではないか。

答 不動産の転売や空き家の増加は地域にとって重要な課題ですが、特定の条件で税率を上げることが

できません。

問 開発について、近接住民の3分の2以上の同意が必要と条例に追加できないか。

答 平成元年に旧建設省の通達で、周辺住民の同意書提出を求めることが行き過ぎとの見解が示され、現在は地元同意ではなく住民説明会を義務づけています。

問 日本だけが外国人が無条件に土地取引できるが、国に規制を働きかけるべきでは。

答 インバウンド施策に起因している課題解決策として特別税制や、不動産売買規制の必要性についても国に説明しています。

問 外国人による不動産所有件数と面積は。

答 本年1月1日時点、土地所有者数は345人、筆数957筆、面積47万2333㎡、家屋379棟。

問 日本人と外国人に分けて、現在上がっている開発の申請数と規模、建築

確認許可件数は。

答 開発審議会に付議された案件は4件。内訳はホテル3件、商業施設1件で、開発規模は1434㎡から1万2929㎡。4月以降7月末までに受理した届出件数は76件。新築52件、増築12件、建物の外観変更12件。床面積は34㎡から5076㎡。

問 2021年以降の日本人の転出入数及び廃業した宿泊事業数は。

答 日本人の転出者数は、2021年363人、22年412人、23年469人、24年463人。転入者数は、24年375人。廃業した宿泊事業者数は、村では情報を管理していないため、数値は把握していません。

問 事業者に二重価格の導入を要請は

答 検討している

【インバウンドの経済効果】

問 外国の観光地では二重価格導入が増えつつあり、村もリフト代等に日本人との二重価格の導入を事業者に要請できないか。

答 価格戦略を区分することが推奨できないか、現在検討しています。



秋の不帰の剣

問 大学を誘致しては

答 勉強会の形で取り組みを始めた



永井 勝則

【大学の誘致】

問 大学誘致は、地域の高齢化や若者の流出、人手不足といった多くの問題を解決できる可能性をもっている。誘致に対する基本的な考え方は。

答 関係人口の増加や地域活性化につながる理想的な姿だと、肯定的にとらえています。

問 白馬エリアには、氷河や山岳などの魅力的な研究対象があり、大都市圏から近いといった誘致先に選ばれるべき理由が多くあ

る。たとえば慶応大学や立命館大学など、地方キャンパス設置に実績のある有名大学の学部をスノーハープに誘致し、学生数400人規模のカレッジタウンを目指しては。

答 大学の誘致には、地元企業との連携や大学のニーズへの対応、地域住民の理解やステークホルダー（利害関係者）との連携が必要で、特に本村では、大学側が必要とする財政上の支援が最も難しいと考えます。

問 国の地方創生施策では、山形県鶴岡市と慶応大学の成功事例がある。観光と農業につづく三本目の柱として大学を据えることができる、村の未来は今よりずっと安定するのでは。

答 現在の財政状況では公共施設の整備が優

先されるため、中期的には難しいと言わざるを得ませんが、事例を調査研究する勉強会の形で取り組めるよう努めます。

問

豪雨災害への備えは

答

あらゆる面で万全を尽くしています

【豪雨災害への備え】

問 近年、全国で頻発している記録的短時間豪雨への備えは。

答 防災情報の発信システムでは、令和2年に情報連携システムを導入し、翌年発信先を登録メールのほか、個別受信機や防災アプリ、村の公式HPなどに拡充して、現在では公式LINEも活用して観光客にも届くシステムになっています。

令和3年には、雨量や河川の水位、LIVEカメラ映

像や気象データなどを一元管理できる判断システムを導入し、適切なタイミングで避難情報を対象地域に伝達して、迅速で円滑な避難の実現に役立てることが可能になりました。

役場職員の体制としては、大雨警報が発表されると、総務課長が建設課長の指示によって、総務課・建設課・農政課の職員が班を編成して役場に詰め、情報収集や報告業務を行います。消防団は洪水時には水防団として活動し、警戒出動や土のう積み作業、避難誘導などの役目を担います。

問 豪雨と土砂災害向けの避難訓練を実施しては。

答 2年に1度、区ごとに自主避難計画を作成し、避難訓練も実施しています。また令和5年には、豪雨にともなう大規模土砂災害を想定した学習型の防災訓練を実施し、

その成果が黒豆沢土砂災害に発揮できたと考えています。



スノーハープをカレッジ・タウンの拠点に！



内川 史朗

問 今後の白馬駅前開発の展望は

答 山岳景観と調和した事業計画を指導したい

【白馬駅前開発】
問 白馬駅前の建物解体工事が進んでいるが、この先どのような建物が建つか。
答 現在進行中の開発計画は、規模や用途の性

格上、白馬村開発行為の調整等に関する条例で規定する事前協議の対象とはならないため、村として関与できる部分は白馬村景観条例に基づく届出の受理と、景観計画に沿った指導・助言に限られます。また、民間事業者が実施する個別事業の具体的な内容については、個人情報保護の観点から適切ではないため差し控えます。

問 高い建物が建設された場合、白馬駅前から眺望できる壮大な山岳景観が損なわれてしまうことが危惧される。対策は。

答 白馬村景観計画では、地域ごとに建物の高さ、道路後退距離、隣地後退距離及び外壁等の色彩について明確な規制値を設けており、白馬駅前の国道沿線については、建造物の高さが規制緩和措置を含めて23メートル以下と定められているため、この規制値内で計画してもらうことになります。

問 白馬駅からの眺望が損なわれた場合、観光面にも問題を及ぼすと考え

答 観光課としても駅前の眺望等は景観部分で非常に重要であると認識しています。雄大な山岳景観を守っていくためにも、策定中の観光地経営ビジョンを共有し、ビジョンにのっとった事業の推進をしていただけるように方針を打ち出していきたいと考えます。

問 国道148号より西側及び駅の近くは無電柱化されたが、北側と南側の進捗状況は。

答 本年度、大町建設事務所が旧県道白馬岳線、白馬通りの南西部において無電柱化工事を実施しており、来年度には抜柱工事が予定され、一旦第1期の工事は完了となります。引き続き、国道406号交差点までの間と白馬通り六十刈交差点から八方間の延伸を県に強く要望しています。

問 白馬町の北側まで無電柱化を進めなけれ

ば、明るいところと暗いところで差ができてしまい防犯面においても問題である。北側工事延伸の着工予定は。

答 無電柱化工事の場合には非常に費用もかかるため、予算の確保ができた範囲から徐々に進めていきたいとの話を聞いています。しかし、無電柱化事業は防災面や景観面においても利点は大きいため、ライフラインの確保という観点からも村としては無電柱化を進めていきたいと考えています。

問 白馬町の中で街路灯がある場所とない場所

所で差ができないよう、ぜひ県に予算をつけてもらえるような方法を検討し、工事を前に進めていただきたいと思います。

答 白馬町の街路灯は白馬町地区の皆様からご提案があり、かつ、自らの手で設置をしていただいた経過から大変ご協力をいただいています。無電柱化の工事が進めば街路灯の整備も進む形になると思うため、地域の皆様のお話を伺いながら、支援できる部分は支援をしていきたいと考えています。



白馬町の街路灯

問 「旗艦ホテル」は住民を駆逐していないか

開発案件増加に伴い地価上昇は生じている



伊藤 まゆみ

【村外資本への不動産移転と住民の資産売却・離村、移住定住】

問 6月定例会の質問に、村長は土地の売買等で外資等が入ってきており、ここに暮らし続けられるか

答 安心感がない部分があると答弁。この不安を取り除くために既にやっていることは、罰則適用も含めたマナー条例の見直し、開発調整条例の適用を受ける一定規模の開発は、事業者に地元説明を義務づけています。今後の開発規制の可能性は調査研究の継続を指示

前職のときの一般質問で、環境基本条例の緩和は観光関連業種が活性化され、雇用、賃金の改善につながる、との答弁。9年経った今、雇用等をどうみるか。

前職のときの一般質問で、環境基本条例の緩和は観光関連業種が活性化され、雇用、賃金の改善につながる、との答弁。9年経った今、雇用等をどうみるか。

答 村内の宿泊、飲食、索道等のパート、季節雇用の実勢の時給水準も大幅に押し上げられていると認識しています。

問 前職のときの一般質問で、開発審議会に「旗艦ホテルの誘致を阻害する条例について」が提出され検討された件を質問。「旗艦ホテルや投資開発は住民を駆逐する」と私は予測し、それが今起こっているように見えるが、どう映っているか。

答 子育て支援施設建設事業で解体工事費用含む調査費に9567万円。子どもが減っている。子どもを預けられる施設が他にもあるのに必要か。箱モノではなく保育士などの人材に投資し、子どもたちにとつ

問 箱モノではなく人材に投資すべきでは

答 保育士への投資は、おっしゃるとおり

確かに開発案件は増えているが、景観条例や開発調整条例の適切な運用で自然環境や景観を維持します。投資を呼び込むとか、抑制するといった観点ではなかなか評価しづらいです。

問 8方池山 荘建替え事業で事業者選定・会議運営支援業務に3652万円。老朽化している水道施設など他に優先順位が高いものがあるが今建替えが必要か。麓には沢山の宿泊施設があり、富裕層向けのグランピングもある。富裕層がターゲット

問 14歳未満はここ数年10%程度の減少。一方で一時預かりの利用数は平均して約16%増加。村は自営業も多く、未満児から子どもを預けたい需要が増加。新たな子育て支援施設は、地域のあらゆる世帯が交流できるコミュニティスペースとしての機能を持ちます。保育士への投資はおっしゃるとおりです。

答 山小屋検討会議でリニューアルを決定しました。グリーンゾーンにおける八方エリアの魅力や体験価値、オールシーズンの観光需要を獲得することに期待するものです。公共施設等総合管理計画を踏まえ、緊急性というよりはこの計画にのっとって公共施設整備を進めている状況です。

トなら、ギャンブル性が高い投資だが。

答 山小屋検討会議でリニューアルを決定しました。グリーンゾーンにおける八方エリアの魅力や体験価値、オールシーズンの観光需要を獲得することに期待するものです。公共施設等総合管理計画を踏まえ、緊急性というよりはこの計画にのっとって公共施設整備を進めている状況です。



地価の上昇が止まらない



太田 学

【森林整備】
問 令和7年度に創設された支障木伐採・森林病害虫防除補助制度の利用実績は。

問 森林整備補助金の評価は

答 目的の成果を挙げたと認識

答 申請件数は29件、対象樹木は151本で、当初予算額250万円をもって終了となり、さらに補正予算を計上しました。所有者による樹木や森林の適正な管理を促すことを目的としており、ナラ枯れを完全に防げませんが、所有者の管理責任を明確にし、住民の財産を守る観点から、おおむね所期の成果を上げたものと認識しています。

問 令和8年度以降も制度を継続する予定と予算措置の見通しは。

答 現時点においては次年度以降も継続していく方針です。新年度予算の編成作業は例年11月頃から開始するため、財政担当課との調整は必要ですが、実績や住民ニーズ、専門家の見解、現場の状況等を踏まえて検討します。

問 対象経費の拡充や補助上限額の見直しなど、制度改善の予定は。

答 本年度からの施行であること、所有者管理の原則や財政状況等を考慮

し、当面は現行どおりです。ただし、4月からの運用を経て補助金交付要綱を改正し、6月1日から施行しました。伐採の補助対象者を「所有者」から「所有者または承諾を得た者」に改め、防除薬剤等も同様としました。

問 地域住民が伐採する場合の防護具支援は。

答 村における森林環境譲与税の基本方針で、森林整備のための資機材購入や林業経営者協会等に所属する者への資機材貸出しを位置づけています。その中で防護ズボン等への運用ができるか検討します。

問 駅前に喫煙所を設置しては

答 検討したが難しい

【白馬駅前喫煙所設置】

問 白馬駅前に喫煙所は必要では。

答 駅や駅前振興会から吸い殻のポイ捨てが多いとの相談があり、候補地を検討しました。しかし、駐輪場は国道に面し通学路でもあり、信号待ちで車が渋滞するため苦情が想定されます。観光案内所についても機能確保が優先であり、直結する狭い箇所に設けるのは適当でないと判断しました。

駅前に有効な村有地はなく、恒常的な設置は困難です。

問 JRRや民間用地を活用した分煙施設設置の検討は。

答 たばこ税や今後導入が予定されている宿泊税などを財源として、仮設喫煙所の設置を含めた分煙対策が

可能か検討していきたいです。

問 今後 出来得る対応は。

答 観光案内所や駅構内での掲示、観光マップやウェブでの案内表示など、マナー向上と受動喫煙防止の両立を図れる方法について検討していきます。



ナラ枯れ被害木伐採の現場

問 この地域に鉄道（大系線）は必要か

答 地域の発展のためにも当然必要である



酒井 洋

【大系線の利用促進と活性化】

問 この2年間で実施された取組と評価は。

答 大系線沿線自治体や観光団体等で組織する同盟会、協議会及び委員会において、大系線の魅力を再発見する事業の展開、人気観光列車の乗り入れ、サイクルトレインの実施、イベント利用促進事業など、様々な形態の事業を展開しました。

継続的な事業展開が図られていることで魅力増進・利用促進、公共交通として存続するための意識の醸成など

に寄与しているものと評価しています。

問 観光に特化させ、観光列車を積極的に使うことの検討は。

答 北アルプスエリアにとつて最も重視すべきは、このエリアで公共交通としての移動手段が確保されている状態を維持することが必須要件だと考えています。

観光列車の運行は鉄道運送を維持、強化する一つの方策であると認識しています。次年度から新潟・長野両県の交通部局と沿線自治体の首長が参画し議論する新たな会議体を設置する予定で、本村としてニーズを踏まえた立場で議論していきます。

問 昨年からの増便バス点での評価は。

答 輸送需要の大幅な改善につながったとは言えない状況ですが、観光需要や訪日客への情報の定着と駅以外の目的地への直接アクセスが可能なルート設定により、潜在的需要が確認されました。一層の利用促進が図られることに期待しています。

問 「ローカル線の再構築協議会」を設置する考えは。

答 大系線の南小谷―魚川間は、設置基準には該当しているが、令和8年度から将来的に持続可能な路線について議論する新たな会議体を設置することから、直ちに再構築協議会を設置する考えはありません。

問 鉄道の支援方式に「上下分離方式」があるが、具体的に支援の検討をしているものは。

答 現段階で「上下分離方式」を含め、具体的に支援の検討を進めているものはありません。

問 支援・転換方式の中に、BRT方式（バス・ラ

ビッド・トランジット）があるが、見解は。

答 BRT方式のメリットも理解しますが、大系線の県境のように溪谷に隣接する急峻地では道路空間の確保が難しいことを考えると、課題やデメリットの一つになり得ると考えています。



本格的な利用促進の取組が鍵となる



サイクルトレインの運行



丸山 宏充

問 部活動地域展開の 基本方針は

答 本年度中に協議を行い
策定、公表

【部活動の地域展開】

問 村の基本方針と白馬
中学校の現状は。

答 国は少子化や教員の
長時間勤務是正を背
景に、令和7年度から休日の

部活動を地域へ段階的に移行する方針を示しています。

白馬中学校では運動部8、文化部2の計10部(男子バレー休部中)。その内、スキー部は(一社)白馬村スキークラブの協力でほぼ地域展開が完了しましたが、他の部活動については外部指導者不足、吹奏楽部などの文化部については学校以外の活動場所など、地域展開を進めて行く中で難しい課題が出てきています。村は今年度「白馬中学校部活動地域クラブ移行検討協議会」を立ち上げ、基本方針についても協議を行い、今年度中に策定、公表します。

問 移行先や移行スケジュールは決まっているか。

答 現時点で具体的な受け皿は決まっていますが、これから協議会で検討します。村では令和8年度に休日の部活動を、令和9年度に平日の部活動の地域移行を目標とし、可能な部から段階的に移行していく方針です。

問 中体連主催の大会に参加は可能か。

答 認定された地域クラブであれば、中体連主催の大会には参加可能との国からの通達があります。村も派遣支援の仕組みを協議会で検討します。

問 経費や財源の確保と村有施設の優遇措置は。

答 指導員の人件費と地域移行にかかる補助は、国・県などの補助金を活用中です。国が目標準としている間は継続が見込まれますが、移行後はスポーツ少年団などと同様、白馬村スポーツ協会に加盟することで村や協会からの補助も想定しています。村有のスポーツ・文化施設については、地域クラブへの優先利用や使用料の50～100%減免を適用できるよう整備を進めます。

問 指導者の確保と育成策は。

答 指導者不足は最大の課題であり、外部指導者登録制度や研修会の開催、謝金制度など、指導者が参加

しやすい環境づくりを検討しています。教員、役場職員、民間人など多様な人材の活用を想定し、小谷村や大町市とも指導者情報を交換しています。

問 移行後の責任の所在と保険対応は。

答 基本的には移行先の競技団体や地域クラブが責任を負う形になりますが、総合的な窓口なども今後協議会で検討していきます。現状は学校の災害共済給付金で対応しますが、地域移行後は受け皿となる競技団体や地域クラブが主体となり、スポーツ安全保険への加入を想定しています。

問 広域連携やモデルケースは。

答 少子化で団体競技は白馬単独でのチーム維持が困難になりつつあり、近隣市町村と連携した共同クラブ化を視野に連携を進めます。すでに地域移行が済んでいるサッカー・水泳・スキーの運営事例を参考に、モデルケースとして示せる事例があれば活用したいと考

えています。

問 保護者負担や月謝は。

答 現状の学校部活動に月謝はなく、消耗品のみ実費負担ですが、地域クラブ移行後は保護者負担が増える可能性が高いと見込まれます。既存地域クラブでは月5千～数万円程度の事例もあります。



白馬中演劇部

問 村民誰もが集える環境 の場を提供する考えは

答 新子育て支援施設に多世代が 集う場を計画



太田 伸子

「住み易く優しい村づく り」

問 白馬デマンドタクシー 「ふれA1号」の改善 点と、自宅前での乗降希望者 数は。

答 10月から、平日の「ふれA1号」には電話予約受付専用車両を確保するためのシステム改修を行い、冬からの課題軽減を図ります。8月末時点の自宅前乗降車の登録者数は244名。

問 自宅前乗降者の回数 券販売について、割引 がなく10回2700円の考 えは。

答 通常3000円の乗車券が2700円という形で販売されており、回数券についても割引ではなく、10回2700円で販売しています。割引率では昨年と同様な状況になっています。基本的には、アプリをできるだけご利用いただきたい。

問 アプリを推奨したいというが、自宅前の方は、電話でしか予約ができない。電話の人は、アプリ決済はできない。現金決済である。アプリの1か月5000円という定期制度ができるのであれば、2700円の回数券と、5000円程度の紙の定期券を作って、電話予約の方もご自分のかばん等に付けて運転手さんが確認すれば、小銭を用意しなくても、また回数券を用意しなくて

も利用できるのではないかと。昨年12月の一般質問でも同様の提案をしたが、その後の考えは。

答 12月にデジタルではない方たちにも定期券という意見を頂いたことは承知しています。定期券については、ぜひ実現していきたいと考えています。

問 冬は雪が多く、夏は猛暑であり、高齢者は外出の機会が減り、人との触れ合いが少なくなる。会話することは、認知症予防にもつながると聞く。空調が整った村民誰もが集える環境の場を提供する考えは。

答 現在、建設を計画している新子育て支援施設に、多様な用途に活用できるフリースペースや多目的室を設け、世代を超えた触れ合いを育む場とする予定です。

問 村内認定の4カ所のクーリングシェルターは、暑さの一時しのぎの場であり、楽しく交流できる場とは思えないが。

答 保健福祉ふれあいセンターの空調設備工事が完了したことから、今後は村民の皆様の交流の場としての活用を検討しています。

問 白馬村温浴施設利用高齢者等助成事業の利用券交付対象者、また交付枚数は。

答 交付対象者は村に住民票を有する満65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方、独り親家庭の小学生以下の方。利用券の交付枚数は、1人1年度につき12枚とし、年度途中での申請があつたときには、申請した月を含め申請年度の残りの月数に1枚の割合で交付します。

問 高齢者に、温浴に伴う外出機会を増やすことで介護予防につなげ、在宅福祉の充実を図るため、温浴施設の利用料金に対して助成を行うありがたい事業。残りの月数での交付ではなく12枚でも良いのでは。

答 今後、あり方や方策を考えます。



月数を削られた温浴施設利用券



白馬村キャラクター
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

問 住みやすい優しい村について、村長の考えは。

答 皆さんがいつまでも心地よく安心して住み続けられる、いくつになっても生き生き暮らせる村を作り上げていきたいと考えています。

関西大阪万博視察

6月23日、大阪ヘルスケアパビリオンにて、村と連携協定を結んでいる名古屋大学の実証実験に関連したCO₂吸着新素材(MOF)の展示を視察しました。改めて今年度ノーベル化学賞を受賞された京都大学北川先生の偉業に感動。



西宮市表敬訪問

6月24日、西宮市を表敬訪問し、市長および市議会議員の皆様と懇談しました。議会棟を拝見し、議会の運営スタイルや施設のしつらえ等、地域ごとの自治体文化の多様さを感じました。



中学生議会事前勉強会

10月24日の中学生議会に向けて、中学校ランクルームにて議会と中学3年生の事前勉強会が行われました。生徒の皆さんは議会の役割と村に対する自分たちの考えや疑問を一緒に考えることができ、将来のまちづくりを担う一歩となる貴重な時間となりました。



糸魚川市・小谷村・白馬村 議会議員連絡協議会

10月7日、姫川流域の連携を強めるため、3市村での協議会を開催しました。岩岳マウンテンリゾートの魅力について、斉藤営業支配人より講義を受けました。



スマホアプリで白馬議会だより配信中！



マチイロ

まちを好きになるアプリ



お気軽に！ご意見をお寄せください！

▶ gikai@vill.hakuba.lg.jp

85-0725(直通) 72-7001(ファックス)

わたしのひとこと



山を眺めながら

堀之内 三浦 洋二

名古屋に生まれ育ち、何気なく訪れた白馬で半世紀の月日が流れました。

その間、結婚、子育て、仕事、地震。色々なことがありましたが、晴れた日も暗く沈んだ日も、色々な人に助けられ、白馬の美しい山々にも見守られて、今を迎えられました。

地区においても温かく迎えていただき、大事な役職を色々助けていただきながら、こなして来ました。6年前に民生委員をお受けして、その中で地区の現状を知ることができました。著しい高齢化や若い世代の少なさ、独居の増加に驚きました。地区の作業やイベントがこの先も続けられるか不安です。打開策はないでしょうか？

民生委員の役目は幅が広く、成果も見えにくいので、役立っているのか不安に思いながら携わっています。今後も微力ながら頑張ります。

雄大な白馬三山を眺めながら、そんなことを思っています。



白馬村へ再移住

白馬町 永野 佳子

独身の頃、スノーボードが好きすぎて白馬に「籠り」から始まり「移住」しました。

結婚を機に東京へ…8年の歳月の間にコロナ禍により主人の完全リモートが定着したので『どこか雪国へ引っ越したい』と考え、白馬の自然や何よりこの北アルプスを間近で見られる環境はどこよりも魅力的だったので約3年前に再移住しました。

移住したら自分で事業をと考えていて今の白馬に足りないものは何かと考えたとき、家族と一緒に自然を楽しむためにペットを連れてきているがペット可のホテルが少ないこと、日中預かってくれる施設が極端に少ないことに目を止めペットホテルを開業しました。おかげ様でたくさんのお犬様にご利用いただいています。

これからもたくさんの魅力がある白馬村に、家族の一員であるペットと一緒に来ていただきたいと思います。



第二のふるさと

飯田 渡邊 大介

私は20歳の頃、ウィンタースポーツが好きで白馬村を訪れました。

当初は冬のシーズンだけ滞在していましたが、10年ほど前から一年を通して暮らすようになり、結婚・子供にも恵まれました。

夏は大工として、冬は白馬47スキー場、八方尾根スキー場、杵池高原スキー場でスノーパーク造成に携わっています。

白馬村を“スノーパークの聖地”にしたいという思いを胸に、日々挑戦と工夫を重ねながら働いています。

昨年末、念願の一戸建てを建てることができました。行政区にも加入し、地域のお祭りや行事、作業にも参加しています。妻は家庭菜園に取り組んでいます。

白馬の夏の心地よい空気、冬のワクワク感、そして地元の方々の温かさに触れる中で、ますます白馬を好きになり、今では第二の故郷と感じています。

あとがき

大変厳しい暑さが続いた白馬の夏もようやく終わり、朝晩は過ごしやす季節となりましたが皆さまいかがお過ごしでしょうか。

自身二回目となる九月定例議会では、初めて一般質問に立ち行政に直接問いかけました。大変緊張した中にも大きなやりがいを感じ、議員として一歩前進できたと思います。

これからも地域の声を議会に届け、より暮らしやすい白馬を村民の皆さんとともに築いていきたいと思っています。引き続き率直なご意見をお寄せください。

(丸山 宏充)

議会広報特別委員会

委員長	太田 学
副委員長	永井 勝則
委員	丸山 宏充
〃	鈴木 均
〃	酒井 洋
〃	内川 史朗
〃	丸山 和之
議長	太田 伸子